TOSHIBA 東芝リモコン送信機取扱説明書 保管用

対　象　機　種	FRC－141T SET(SESLⅡ高機能用)

適合調光センサ	TLTS01A, TLTS02A, TMTS01A, TMTS02A
適合センサ器具	DF-20204NXD7, DF-20204NZD7, DF-20204XD7, DF-20204ZD7, DF-20203NXD1, DF-20203NXD2, DF-20203NZD1, DF-20203NZD2, DF-20204YS1, DF-20204YS2

お客様へ

このたびは東芝リモコン送信機をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
ただしくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとも必ず保管してください。

工事店様へ

工事が終了しましたらこの取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

この取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 注意 この項目を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●リモコン送信機を改造したり、部品を変更したりしないでください。
感電、火傷等の原因となります。　改造

●このリモコン送信機は非防水です。
屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。　湿気

●暖房器具、ガス器具等の真上・付近など、温度の高い場所では使用しないでください。
（このリモコンは、５～３５℃の温度範囲で使用するようにつくられています。）

温度

●リモコン送信機に表示された電圧（単四形乾電池：２本）以外でご使用しないでください。

電源電圧

●長期にわたりリモコン送信機を使用しない場合には乾電池をはずしておいてください。
液もれなどでリモコン送信機をいためる原因となります。
また、液もれによる火傷の原因となります

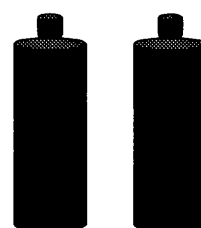
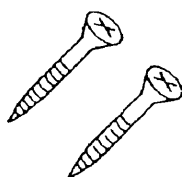
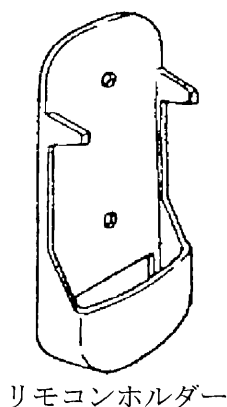
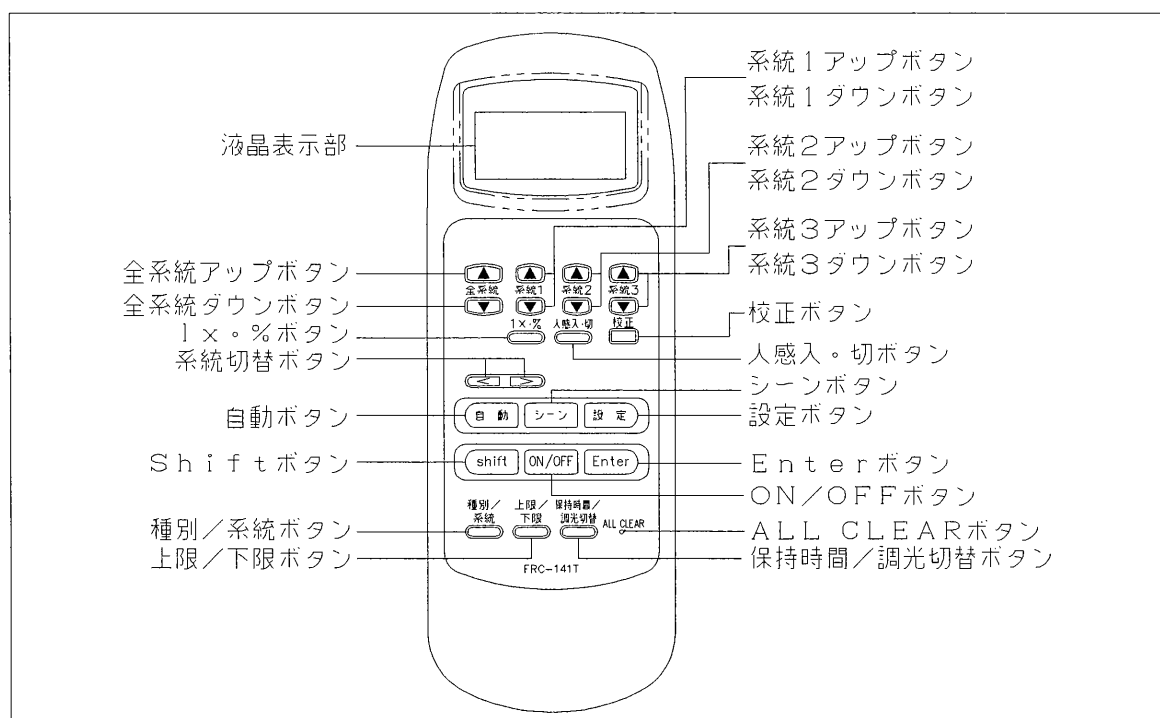
附属部品

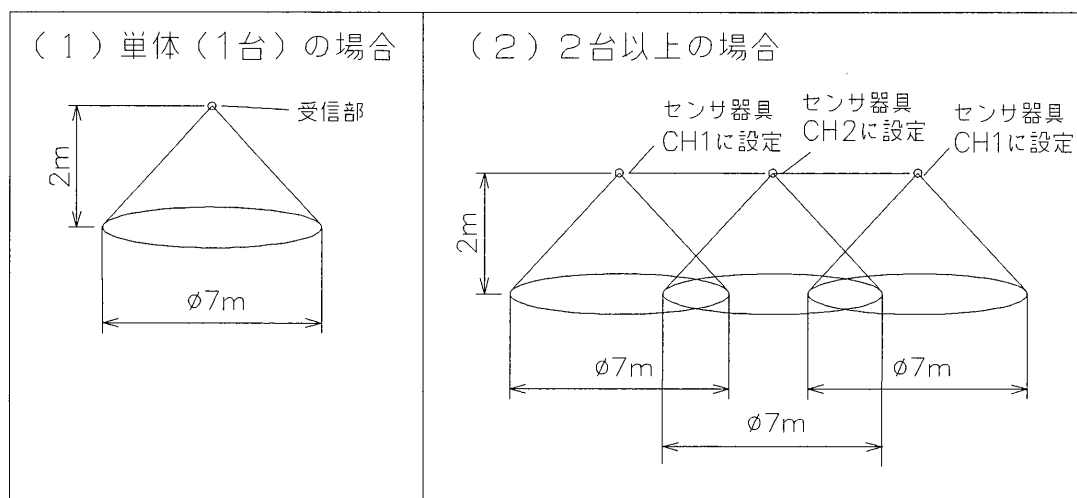
リモコンホルダー

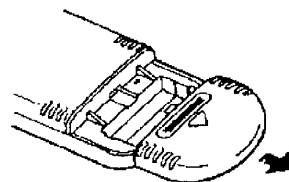
リモコンホルダー
取付用木ねじ（２本）

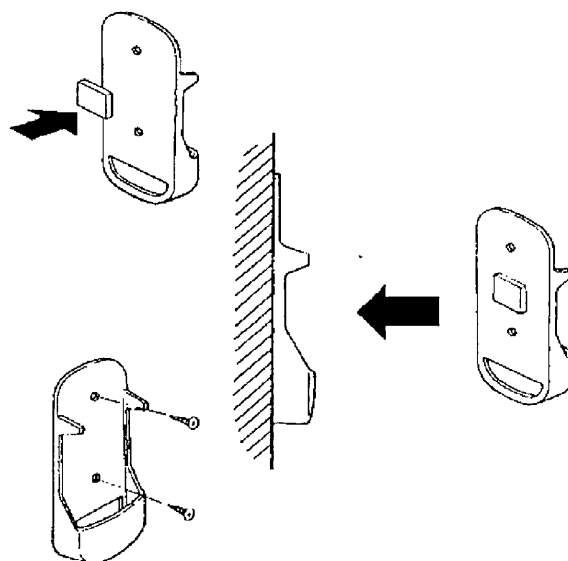
単四形
アルカリ乾電池（２本）

＜生産完了 2010年03月23日＞

FRC-141T SET (1／12)

■リモコン送信機の各部のなまえ

■リモコン送信機の操作範囲

リモコン操作は下図のリモコン操作範囲内にておこなってください。
隣接して調光センサもしくはセンサ器具（以下、センサ器具と記載します）の受信部が取り付けられている場合には、干渉するおそれがありますので受信部側、送信部側のチャンネルを下図のように分けてください。
リモコン操作は送信機を受信部に向けて操作してください。
また、設定・登録・状態確認操作等においてリモコン送信機で返信信号を受信し液晶部に表示させる場合には下図のリモコン操作範囲のうち、特にセンサ器具（受信部）直下にて操作してください。

■乾電池の入れかた

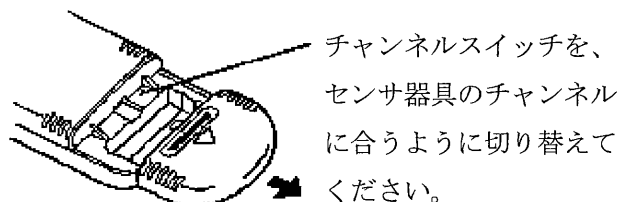
（1）バッテリーカバーをはずします。
リモコン送信機裏面のバッテリーカバーを手前に引いてください。
（2）乾電池を入れます。
単四形アルカリ乾電池を２本入れてください。
乾電池の寿命は１日１０回の操作で１年が目安です。
（3）バッテリーカバーを閉めます。

■リモコンホルダーの取り付けかた

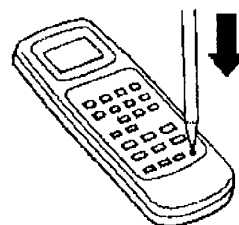
（1）両面テープなどをホルダーに貼りつけます。
（2）ホルダーを壁などに仮止めします。
（3）木ねじで固定します。

ご注意

リモコンホルダーに、リモコン送信機を入れたままセンサ器具を動作させることはできません。
ホルダーからリモコン送信機を取り出して操作してください。

■リモコンのチャンネルの切り替えかた

（1）バッテリーカバーをはずします。
リモコン送信機裏面のバッテリーカバーを手前に引いてください。
（2）チャンネルスイッチを切り替えます。
スライドスイッチを目的のチャンネルの番号に合わせます。
（3）バッテリーカバを閉めます。

チャンネルスイッチを、センサ器具のチャンネルに合うように切り替えてください。

■センサ器具の設定状態を出荷時に戻す方法

「ALL CLEAR」ボタンをペン先などの先端のとがったもので押すと、センサ器具の設定状態が出荷時の状態にもどります。
※出荷時の設定状態についてはセンサ器具の取扱説明書をご覧ください。

■操作のしかた(センサ器具により対応していない操作もあります)

1. ON／OFF

リモコンをセンサ器具に向けて「ON/OFF」ボタンを押すたびにON／OFFします。

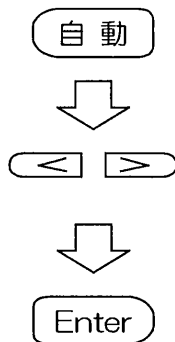
ON/OFF

※系統毎のON／OFFをおこないたい場合には、対象の系統の「▲」ボタンを押しながら 「ON/OFF」ボタンを押すことでONし、「▼」ボタンを押しながら「ON/OFF」ボタンを押すことでOFFします。

2. 記憶した目標値(ケース)で動作させる

手順1．センサ器具に向けて「自動」ボタンを押します。
　※外部接点状態に対応したケースまたは、センサ器具が記憶しているケースの目標値で動作します。
　リモコンにケース番号と目標値が返信されます。

手順2．「<」、「>」ボタン操作でケースを変更します

手順3．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。動作するケースが変更されます。
　リモコンにケース番号と目標値が返信されます。

※返信信号をうまく受信しなかった場合アンダーバーの点滅表示となります。再度センサ器具の直下でセンサ器具に向けて再操作してください。

3. 手動で明るさを変える

●簡単操作

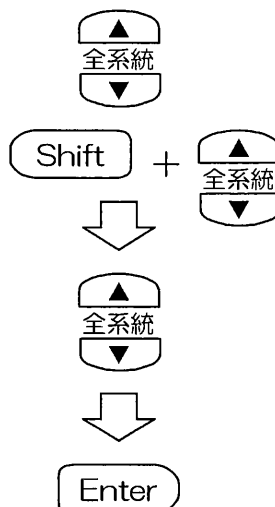
リモコンの全系統または各系統の「▲」「▼」ボタンを操作してランプの明るさを調整します。

●細かく操作

手順1．「Shift」ボタンを押しながら全系統または各系統の「▲」、「▼」ボタンを押すと右図のように該当する系統に［70%］が表示されます。

手順2．「▲」、「▼」ボタンで希望の調光度を表示します。

手順3．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。

※手動操作時は目標値制御（自動制御）は行ないません。

4. シーン

リモコンをセンサ器具に向けて「シーン」ボタンを押すだけであらかじめ登録されているシーンを再現することができます。

シーン

シーン　系統1 50 %　系統2 30 %　系統3 100 %　CH1

※シーンは手動操作の一形態です。ケース番号で設定した目標値制御（自動制御）とは異なります。

5. 現在の調光度を知る

手順1．センサ器具にリモコンを向けて「Shift」ボタンを押しながら、「自動」ボタンを押すと右図のように現在の調光度が表示されます。

※返信信号をうまく受信しなかった場合アンダーバーの点滅表示となります。
　再度センサ器具の直下でセンサ器具に向けて再操作してください。

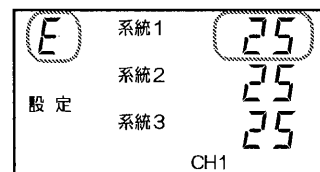
■設定のしかた（センサ器具により対応していない操作もあります）

1. 照明器具の設定

ご使用になる照明器具にあわせて調光範囲を設定します。
照明器具に使われているインバータの種類にあわせて調光範囲の下限値を入力します。
出荷時の設定は、全系統２５％～１００％調光タイプの照明器具になっておりますのでこの調光タイプの照明器具を使用される場合には照明器具の設定は不要です。

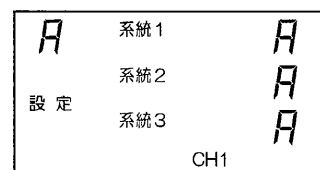
手順１．リモコンの「種別/系統」ボタンを押します。

手順２．各系統の「▲」「▼」ボタンを押して数値をあわせます。
※「Shift」を押しながら各系統の「▲」「▼」を押すと細かい調整ができます。

手順３．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。センサ器具から”ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、設定完了です。

2. あかりセンサの接続系統状態の判別

内蔵のあかりセンサ以外にあかり子機を接続してご使用になる場合には以下の手順であかりセンサ子機の接続状態を判別し記憶する必要があります。
あかりセンサ子機をご使用にならない場合、この作業は不要です。
出荷時には内蔵のあかりセンサのみで全系統の制御をおこなうように設定されております。

手順１．リモコンで「Shift」を押しながら「種別/系統」ボタンを押します。

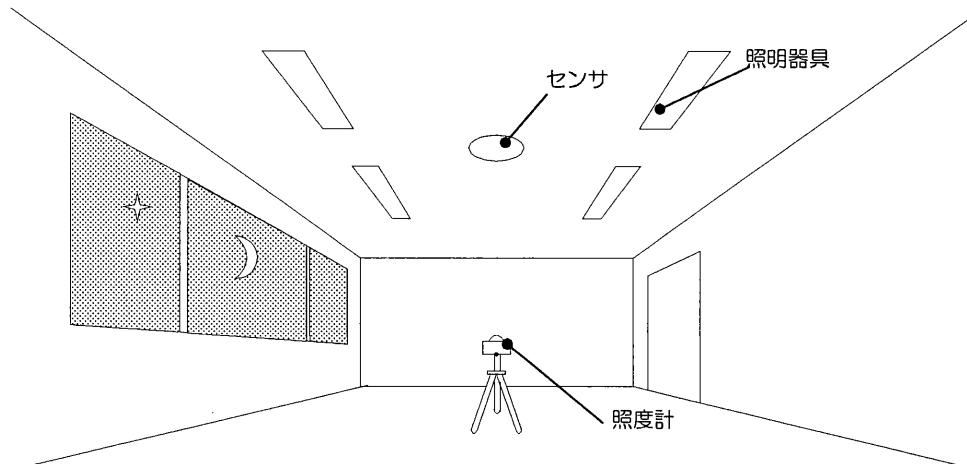
手順２．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。センサ器具があかりセンサ子機の接続状態を自動的に判別し記憶します。

3. あかりセンサの校正

あかりセンサが照度を正しく検知するために、あかりセンサを実際の照度にあわせて校正する必要があります。

●校正のまえに

※什器などを設置したあとの実際の使用状態で行なってください。
※夜間もしくは外光の影響が無い状態で校正してください。
※校正作業は「（１）照度計を使って校正する場合」に従って行なってください。照度計がない場合には「（２）照度計を使わないで校正する場合」に従ってを行なってください。どちらか一方の校正作業で結構です。

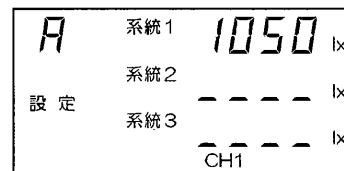
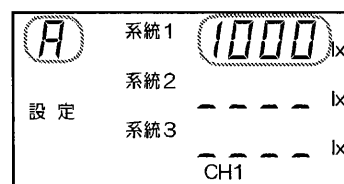
（1）照度計を使って校正する場合

照度計を用意してください。
照度計を三脚などを使って一定の高さにおきます。
部屋の中で平均照度に近い場所でセンサ器具の下に近い場所に照度計を置いてください。

手順１．リモコンの「▲」「▼」ボタンを操作してランプの明るさを調整します。照度計で明るさを測りながら、ほぼ 1000［lx］になるようにしてください。
（→操作のしかた）

手順２．リモコンの「校正」ボタンを押します。

手順３．「＜」「＞」ボタンを押して液晶表示の［系統１］に 1000［lx］を表示します。
※あかりセンサ子機を使用する場合には、同様に系統２、３の設定もおこなってください。

手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。
センサ器具から”ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、校正完了です。

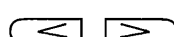
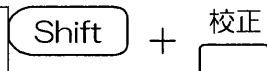
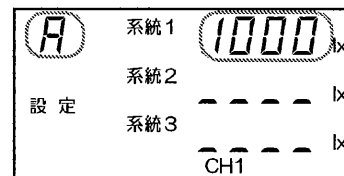
※1000［lx］以外でも校正できます。手順４．で全系統「▲」「▼」ボタンを操作してリモコンに表示される照度を周囲の明るさにあわせてください。

(2)照度計を使わないで校正する場合

調光度７０％のときの明るさを設計照度として校正します。
※この校正は必ず外光の影響のない夜間におこなってください。
※あらかじめ照明器具（インバータ）の種類を設定してください。（→１．照明器具の設定）
※ランプは新しいものを使ってください。

手順１．リモコンで「Shift」を押しながら「校正」ボタンを押します

手順２．「＜」「＞」ボタンを押して液晶表示の［系統１］に 1000［lx］を表示し+ます。
※あかりセンサ子機を使用する場合には、同様に系統２、３の設定もおこなってください。

手順３．全系統「▲」「▼」ボタンで、設計照度を表示します。

手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。
※自動的にランプを 70[%]で調光し、そのときの明るさを設計照度として校正します。

4. 目標の設定

●設定内容

センサ器具には８種類の目標値を記憶しておくことができます。１つの記憶した目標値をケースと呼びます。
リモコンによりケースの切換のほか、外部接点端子や伝送線からの信号により切換ることができます。
出荷時の設定状態はセンサ器具の取扱説明書をご覧ください。

ケース1　系統1、系統2、系統3：1000[lx]設定
ケース2　系統1、系統2、系統3：800[lx]設定
ケース3　系統1、系統2：1000[lx]設定　系統3：800[lx]設定　など

●目標の設定方法

目標値はケースごとに設定しておきます。

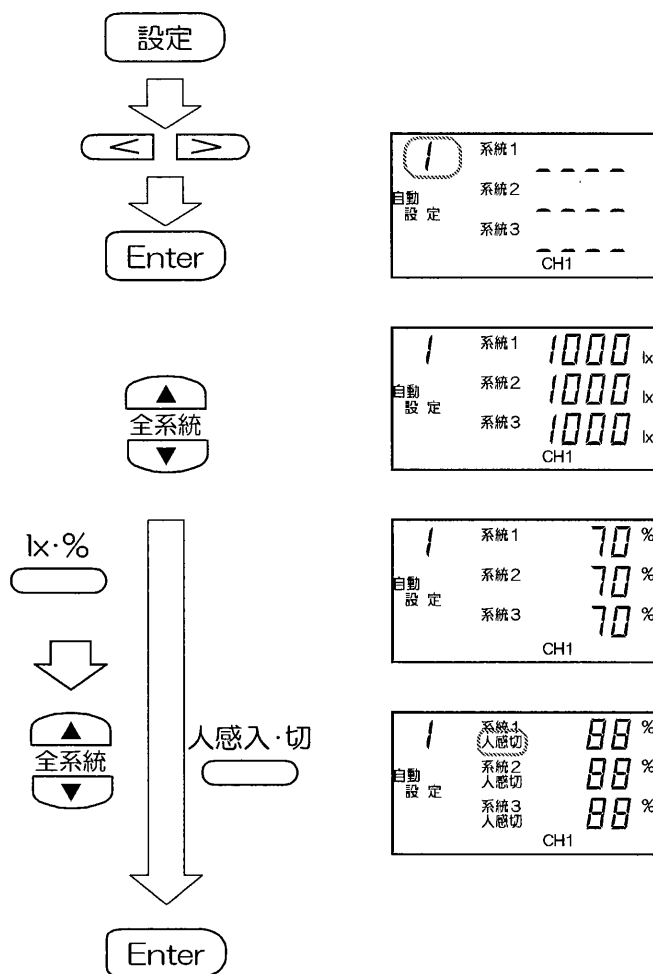
手順１．リモコンの「設定」ボタンを押します。

手順２．「＜」「＞」ボタンで変更したいケース番号を選びます

手順３．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。

手順４．選んだケース番号での記憶された目標値が返信されてきます。

手順５．「▲」「▼」ボタンを操作して目標値を変更します。
※目標値を切換えるとき
「ｌｘ・％」ボタンで動作モードを選びます。数値が％表示のときは、調光度を一定で制御します。
数値が［ｌｘ］表示のときは照度が一定になるよう制御します。
※人感センサを無効にしたいとき
目標値を決めてEnterを押す前に、「人感入・切」ボタンを押してください。［人感切］の表示のとき、人感センサは無効で設定されます。

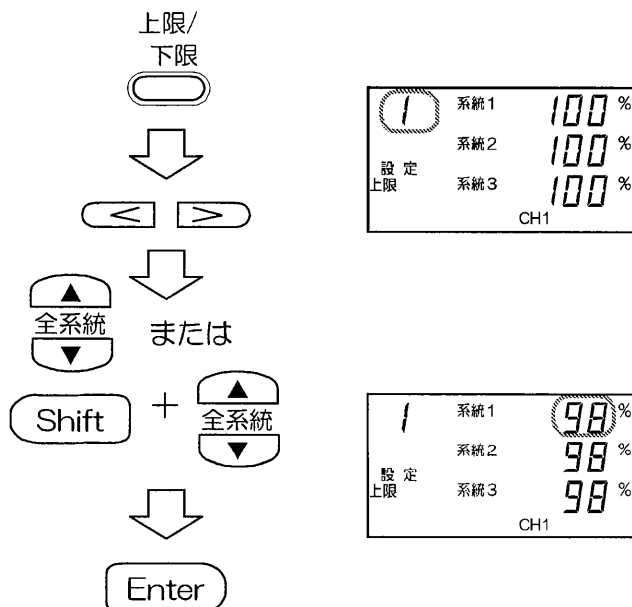
手順６．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。センサ器具から”ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、設定完了です。

5. 上限の設定

目標値が照度のとき、ランプの明るさ（調光度[%]）の変化範囲を制限できます。
周囲が暗くなっても、ここで設定した値より照明は明るくなりません。

手順１．リモコンの「上限/下限」ボタンを押します。

手順２．「＜」､「＞」ボタン操作でに変更したいケース番号を選びます。
※ケース番号なしの場合、全ケース同一の設定となります。

手順３．「▲」または「▼」ボタンで数値は５　　ずつ変化します。
「Shift」を押しながら「▲」または「▼」を押すと１％ずつ変化します。
※ケース番号なしの全ケース設定の場合、１％ずつの設定はできません。

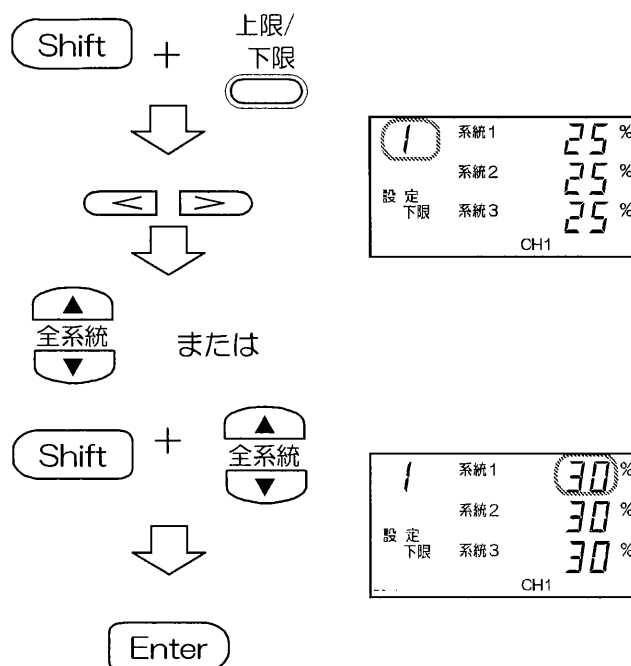
手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。

6. 下限の設定

目標値が照度のとき、ランプの明るさ（調光度[%]）の変化範囲を制限できます。
周囲があかるくなっても、ここで設定した値より照明は暗くなりません。

手順１．リモコンの「Shift」を押しながら「上限/下限」ボタンを押します。

手順２．「<」、「>」ボタン操作で変更したいケース番号を選びます。
※ケース番号なしの場合、全ケース同一の設定となります。

手順３．「▲」または「▼」ボタンで数値は５％ずつ変化します。
「Shift」を押しながら「▲」または「▼」を押すと１％ずつ変化します。
※ケース番号なしの全ケース設定の場合、１％ずつの設定はできません。

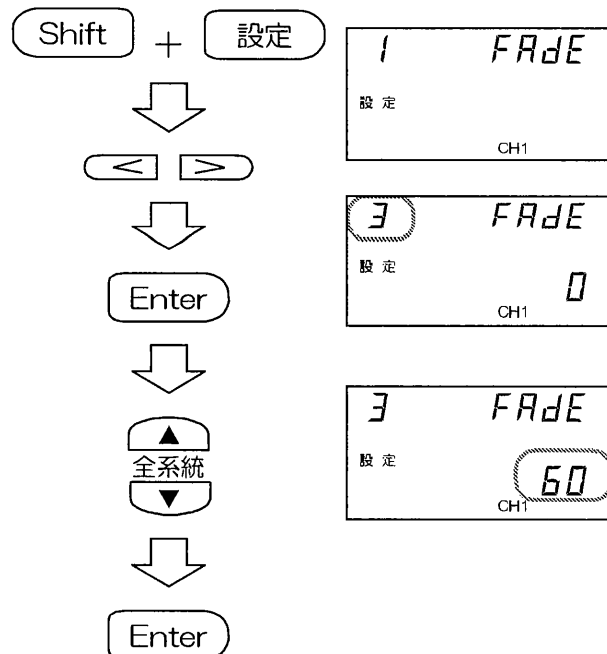
手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します

7. フェード時間の設定

ケースの切換わりと、人感センサで不在または人を検知したときにはランプの明るさが徐々に変化するフェード機能が働きます。このフェード機能の変化速度を変更することができます。

手順 1．リモコンの「Shift」を押しながら「設定」ボタンを押します。

手順２．［ＦＡｄＥ］と表示されたら「<」、「>」ボタン操作で変更したいケース番号を選び「Enter」を押します。
※ケース番号９は不在→在へ、ケース番号０は在→不在への変化のときの設定です。

手順３．全系統「▲」または「▼」ボタンで数値を変更します。
※フェード時間の数値は秒をあらわします。
※フェード時間０秒、10秒、20秒、30秒、60秒、90秒、120秒、180秒から選択します。

手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します

8. 人感センサの保持時間の設定（あかりセンサのみのセンサ器具では人感センサ子機を接続したときに有効）

人感センサが最後に人を検知してから一定の時間は現在の制御を維持します。それが保持時間です。

出荷時には全ケース６分に設定されています。

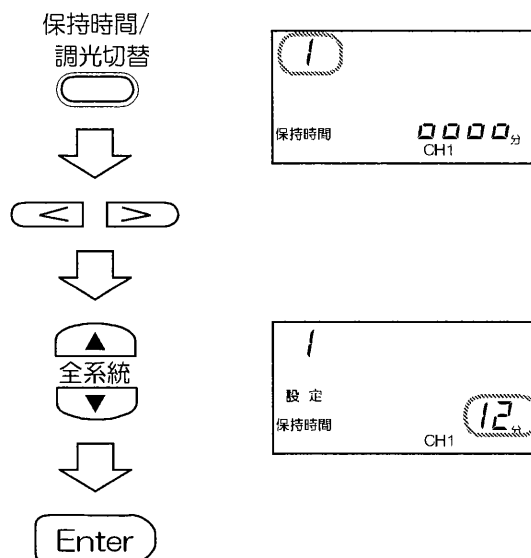
保持時間は、目標値のケースごとに設定できます。

センサ保持時間の設定

手順１．「保持時間/調光切替」ボタンを押します。

手順２．「<」「>」ボタンで変更したいケース番号を選びます。
※ケース番号なしの場合、全ケース同一の設定となります。

手順３．全系統「▲」「▼」ボタンを操作して時間を変更します。（0000 は５秒です）
※保持時間は５秒（確認用）と１分から３０分までの１分刻みで設定できます。

手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。

9. 不在時の明るさの設定

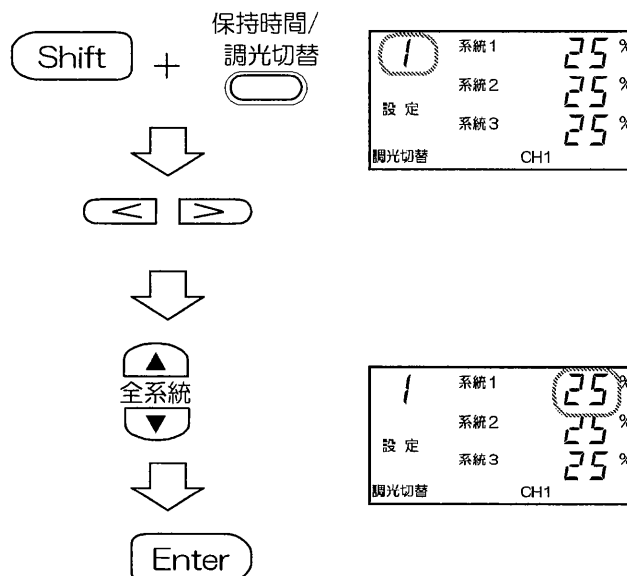
不在時のあかるさは、調光度で設定します。

目標値のケースごとに設定します。

手順１．リモコンの「Shift」を押しながら「保持時間/調光切替」ボタンを押します。

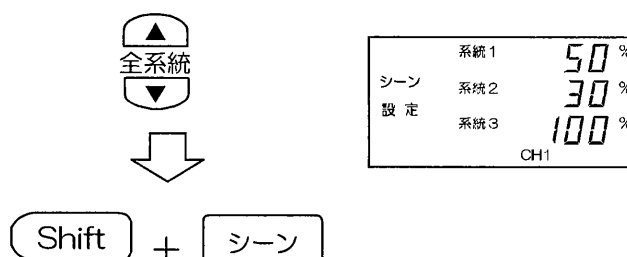
手順２．「<」「>」ボタンで変更したいケース番号を選びます。
※ケース番号なしの場合、全ケース同一の設定となります。

手順３．「▲」「▼」ボタンを操作して目標値を変更します。「Shift」を押しながら「▲」または「▼」を押すと１％ずつ変化します。
※ケース番号なしの全ケース設定の場合、１％ずつの設定はできません。

手順４．センサ器具にリモコンを向けて、「Enter」を押します。

10. シーンの変更

お好みのシーンを演出するため、系統毎の手動値を登録し、１ボタン操作で再現させることができます。

手順１．手動でお好みの明るさに変えます。
（→操作のしかた）

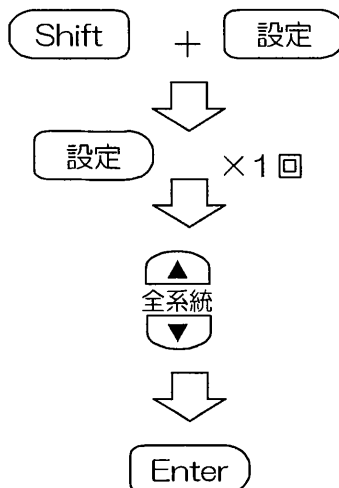
手順２．「Shift」ボタンを押しながら「シーン」ボタンを押してください。ブザー音がして現在の調光度がシーンとして登録されます。

１１．調光器入力信号の有効／無効の設定

調光器入力信号端子があるセンサ器具で、調光器信号による制御を系統毎に無効にすることができます。

手順１．「Shift」ボタンを押しながら「設定」ボタンを押してください。

手順２．さらに１回「設定」ボタンを押すと右図のような表示になります。

手順３．「▲」「▼」ボタンを操作して調光器信号による制御を［有効／無効］に切換ます。
※ｏｎ表示が有効で、ＯＦＦ表示が無効です。

手順４．リモコンをセンサ器具に向けて「Enter」ボタンを押してください。

ON／OFFタイプ器具の操作および設定変更

ON／ＯＦＦタイプのセンサ器具（DF-20204YS1, DF-20204YS2）は本リモコンにより、

１．リモコンによる手動ON／ＯＦＦ操作

２．人感センサの保持時間の変更

の２つのことができます。

1. リモコンによるON／OFF操作

センサ器具の本体スイッチをリモコン受信可能に設定した状態で、本リモコンによるON／ＯＦＦ操作が可能です。

操作方法は本取扱説明書の「 **■操作のしかた　1. ON／OFF** 」をご参照ください。

また、センサ器具の本体スイッチの設定方法はセンサ器具（DF-20204YS1, DF-20204YS2）の取扱説明書をご参照ください。

※系統毎のON／ＯＦＦ操作はできません。

2. 人感センサの保持時間の変更

センサ器具の本体スイッチをリモコン受信可能に設定した状態で、人感保持時間を５秒（動作確認用）と１分刻みで１分から３０分までの設定変更が可能です。

設定方法は本取扱説明書の「 **■設定のしかた　8. 人感センサの保持時間の設定** 」をご参照ください。

また、センサ器具の本体スイッチの設定方法はセンサ器具（DF-20204YS1, DF-20204YS2）の取扱説明書をご参照ください。

※設定変更は「ケース番号なし」の設定操作でおこなってください。

汎用形センサ器具の操作および設定変更

汎用形タイプのセンサ器具（DF-20203NXD1, DF-20203NXD2, DF-20203NZD1, DF-20203NZD2）は本リモコンにより、

1．リモコンによる手動ＯＮ／ＯＦＦ操作
2．リモコンによる手動アップ、ダウン操作
3．制御目標の設定
4．制御範囲（上限、下限）の設定
5．人感センサの保持時間の変更
6．不在時の明るさの変更

ができます。

1. リモコンによるON／OFF操作

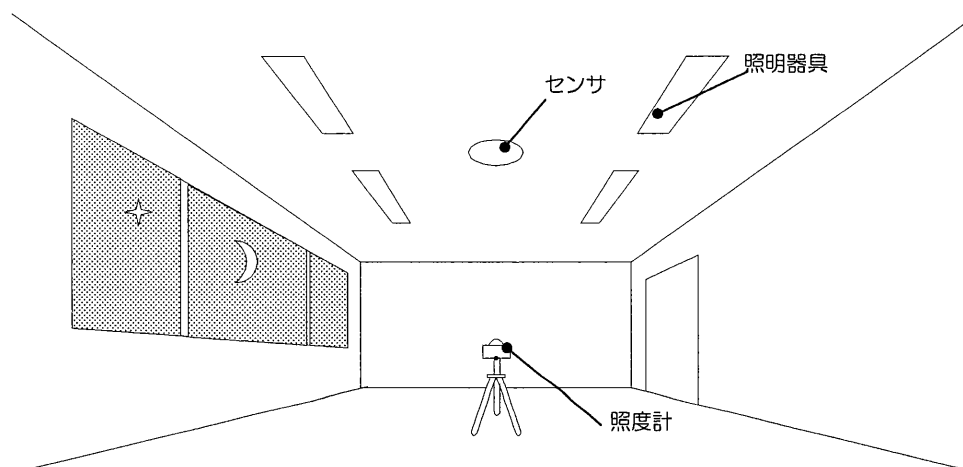
操作方法は本取扱説明書の「 **■操作のしかた　1. ON／OFF** 」をご参照ください。
※系統毎のＯＮ／ＯＦＦ操作はできません。

2. リモコンによる手動アップ、ダウン操作

操作方法は本取扱説明書の「 **■操作のしかた　3. 手動であかるさを変える　●簡単操作** 」をご参照ください。
※「 **■操作のしかた　3. 手動であかるさを変える　●細かく操作** 」はできません。

3. 制御目標の設定

※什器などを設置したあとの実際の使用状態で行なってください。
※夜間もしくは外光の影響が無い状態で設定してください。
※照度計を用意してください。また照度計を一定の高さにおくために三脚があると便利です。

以下の手順で制御目標を設定することができます。

手順1．照度計を三脚などを使って一定の高さにおきます。

手順2．手動で明るさを変え、制御目標の照度にします。（→操作のしかた）

手順3．「設定」ボタンを押し「Enter」ボタンを押してください。ブザー音がして現在の照度が制御目標として登録されます。
※ケース番号は１で操作してください。

全系統
設定
Enter

手動　系統1 ---- %　系統2 ---- %　系統3 ---- %　CH1

自動設定　系統1 ----　系統2 ----　系統3 ----　CH1

4. 制御範囲（上限、下限）の設定

操作方法は本取扱説明書の「 **■操作のしかた　5. 上限の設定　および　6. 下限の設定** 」をご参照ください。
※設定変更は「ケース番号なし」の設定操作でおこなってください。

5. 人感センサの保持時間の変更

センサ器具の「点灯保持時間スイッチ」を「確認用」にした状態で、人感保持時間の変更が可能です。
設定方法は本取扱説明書の「 **■設定のしかた　8. 人感センサの保持時間の設定** 」をご参照ください。
※設定変更は「ケース番号なし」の設定操作でおこなってください。

6. 不在時の明るさの変更

センサ器具の「調光切り替えスイッチ」を「調光」にした状態で不在時の明るさを変更することが可能です。
設定方法は本取扱説明書の「 **■設定のしかた　9. 不在時の明るさの設定** 」をご参照ください。
※設定変更は「ケース番号なし」の設定操作でおこなってください。

■使用上のご注意

・リモコン送信機は東芝センサ器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
・リモコン送信機はセンサ器具の受信部に向けて操作してください。
・操作はリモコン操作範囲内でおこなってください。
（ただし、設定・登録・状態確認の操作時にはセンサ器具直下付近で操作してください。）
・リモコン送信機の周辺にしゃへい物がある場合は受信機（東芝センサ器具）が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて再度ボタン操作をおこなってください。
・天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
・リモコン送信機はリモコンホルダーに入れたままで操作しないでください。
・リモコン送信機の送・受信部、センサ器具の受信部は汚れますと動作しにくくなりますので、乾いた布で拭いてください。
・リモコンで消灯した場合、センサ器具はマイコンを使用しているためわずかな電流が流れて電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ずセンサ器具の電源を切って節電を心がけてください。
・リモコン送信機は落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因となります。
・乾電池が消耗してくると動作しにくくなりますのでその際は新しい乾電池と交換してください。
・乾電池交換の際は必ず２本とも交換してください。動作不良の原因となります。
・長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合には乾電池をはずしておいてください。液もれなどでリモコン送信機をいためる原因となるほか、液もれにより火傷する危険性があります。
・照明器具やエアコンの送風口等に近い位置に受信部がある場合には、リモコンが正常に動作しないことがあります。

保証について

・保証期間は**商品お買い上げ日より1年間です。**
但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』　0120-1048-41（フリーダイヤル）
・新製品などの商品選び、お取扱い、お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』　0120-1048-86（フリーダイヤル）

携帯電話・PHSからのご利用は　(03)-3426-1048（有料）
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

修理サービス
ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店（工事店）または、お近くの東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の型名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社　**電材照明社 〒410-0312 静岡県沼津市原2608番地58**　TEL:(055)968-8401 FAX:(055)968-8399

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。